

平成22年度 事業概要

事業名称	概要				評価・所見等
	日程	会場	延人数	テーマ、講師、担当等	
1. 情報の収集・提供に関する事業					
ボランティア・市民活動紹介冊子「はじめてみませんか？」の作成	7月	市内のボランティアまたは市民活動をしている団体・グループの情報（平成22年7月現在）をまとめた冊子（430部）及び一覧表（3,000部）を発行し、掲載団体に配布及びる一ぶらざ・キックス等で閲覧し活用した。掲載117団体			ボランティア・市民活動を始めた人に、多くの団体の最近の情報が提供できた。また、掲載団体が前年度より9団体増加（1団体減）した。
生涯学習情報誌への記事掲載	年4回	市広報合冊の「かわちながの生涯学習情報誌」の平成23年1月号に「ボランティア・市民活動フェスティバル」の特集記事を、8・11・1・3月号に支援センターの活動関連をアラカルト欄に掲載した。			市広報に合冊して掲載することで、ポラフェス案内や参加団体の活動内容を紹介することで、ボランティア・市民活動情報を広く市民に提供できた。
支援センター情報紙「る一ぶらざだより」の発行	年4回	支援センター情報紙、春号(9号)夏号(10号)秋号(11号)冬号(12号)の4回発行、(各号カラー版40部、白黒版1,000部)「はじめてみませんか？」掲載団体・推進委員などに配布、各公共施設等に配架、来場者に配布			支援センターの行事等開催記事を重点に掲載、また、毎号変化に富んだ情報・記事、団体の行事予定が掲載できた。
他市他施設の調査・研究	2月1日	高槻市市民活動センター	15	高槻市民公益活動サポートセンター「協働プラザ」を見学、コミュニティ推進室等で説明を受けた。	施設概要、事業内容、運営方法、行政との連携、NPO法人との協力体制等参考になった。
ホームページ	通年	支援センターの管理運営状況の更新、支援センター行事のお知らせ、団体年間行事のお知らせ、まちづくり交流会の案内等を掲載した。			毎月の更新より出来た。事務局に集まる情報を迅速に掲載できるようまた、有効活用を検討する。
その他	通年	市役所2階とキックス1階情報コーナーに設置の団体の活動をPRする「お知らせポケット」でチラシ等配架、団体活動を広く市民に紹介するための取			「お知らせポケット」の周知・拡充。団体活動の取材はこれからの課題である。
2. 学習機会の提供に関する事業					
ボランティア入門講座	5月15日	キックス	43	講演：「うめぼしぼあちゃんずう」が語る東北民話 目的：ボランティア活動をはじめたい人の手助け 内容：ズーズー弁を通して民話と活動のやりがい等 講師：川嶋敏子 ボランティア体験談：2団体	例年と違い東北民話と語り部を通じて、その活動のやりがいなど楽しい話であった。2団体のボランティア体験談では地道な活動で、地域の活性化・環境保全に役だつお話を聞いた。
ボランティア活動体験・見学プログラム	7月26日～8月29日	キックス・ボランティアアセンター・その他活動	505	対象：市民（幼児・小学生以上）市内在住・在勤・在学者 目的：各ボランティア団体の活動状況を見学し、実際に体験をし、ボランティア活動を理解してもらい参加の機会をつくる。実施プログラム数：33プログラム 参加団体数：21団体	一般参加者が前年度より若干増加した。また、夏休み期間の開催で、子どものメニューに参加者が多く集まった。楽しく有意義な体験だったなど、参加者から良い反応があった。なお、子ども募集の定員オーバー対応等の検討が必要である。
グループ運営講座	10月6日	キックス	20	テーマ：プレゼンテーション講座「団体アビールの近道」目的：団体の輪を広げたい、仲間を増やしたい。そのためにPRする効果的なプレゼンテーション方法 講師：大阪NPOセンター 堀野亘求	講演を聴くだけでなく、実践形式でプレゼンテーションの手法を学びまた評価し合った。プレゼンテーションのポイント、コミュニケーションの重要性を学ぶなど有意義であった。
3. 交流促進に関する事業					
市民まつりへの参加	5月9日	寺ヶ池公園 小山田小学校	来客数 850	「はじめてみませんか？」の掲載団体活動を展示、ボランティアの木展示、「る一ぶらざ」場所当てクイズを行い、支援センターの紹介と啓発	各団体の活動状況及び支援センターのPRができた。「る一ぶらざ」場所当てクイズで「る一ぶらざ」のPRができた。
市内団体交流会	9月9日	キックス	28	対象者：市民公益活動団体・自治会・グループでボランティア市民活動をしている人 参加団体数：19（団体紹介と活動分野別に意見交換）	参加者は違う分野の他団体の活動内容、悩み、苦労話などが聞け、また、その中でも前向きに明るく積極的に活動している姿が伺えた。
ボランティア・市民活動フェスティバル	2月27日	キックス	3800	目的：たくさん参加団体の活動を紹介し、ボランティア・市民活動の啓発及び促進を図る。 テーマ：よりよい明日へ、咲かせよう大輪の花 参加団体：54団体 内容：展示、実演、フリーマーケット、ステージ、絵画コンクール展	前年度より大幅に来場者が増えた。例年と異なる「アルケミスト」コンサート、「バイキング」を。多くの絵画作品（162）また多くの催しを通しボランティア・市民活動の啓発・促進が出来た。更には、来場者に楽しんで頂いた。
4. 相談・コーディネートに関する事業					
ボランティア・市民活動情報提供コーナー	毎週木曜	キックス	件数：33件	情報コーナーで、ボランティア・市民活動をしようとする来場者に、相談及び団体や自治体活動情報を提供できた。	る一ぶらざは知れ渡り、相談件数も昨年より増加し、種々の情報も得られ提供できたこと。相談内容の分析も、今後の参考にする。しかし、まだまだ相談員の質の向上が必要である。
ボランティアアドバイザー養成講座	9月29日	る一ぶらざ	14	内容：①ボランティア活動とアドバイザーの役割②グループ支援の方法③ボランティアアドバイザーに必要な相談技術④対応力アップと実践	相談者の思いを丁寧に受け止め、気持ちの寄り添えるアドバイザーになることを学んだ。
	10月13日	る一ぶらざ	13	講師：大阪ボランティア協会江刺子	相談対応をアップさせるためにはどうすれば良いか、実践形式で体験できた。
相談・コーディネート機能（1）	12月4日	大阪ボランティア協会	受講者2	内容：NPO法の基礎や組織設計/定款づくりや運営 講師：ボランティア協会奈良雅美/江刺子	NPOとは何か、基本をおさらいできた。法的裏付け、行政の仕組みが理解でき、今後の相談に活かせることができる。
	12月17日	難波市民学習センター	受講者1	内容：NPOのための行政組織、予算、政策づくり 講師：ボランティア協会早瀬昇	
相談・コーディネート機能（2）	1月21日	みのお市民活動センター	参加者6	みのお市民活動センターの相談対応状況を見学し、当方支援センタースタッフの相談能力向上を図る。	「みのお」のスタッフ体制、相談記録の保管・情報の共有化など学ぶことが多くあった。
ステップアップ講座	1月20日	キックス	9	講座：「NPO基礎講座」内容：NPOと行政、企業の違い、組織運営、財政基盤、認証取得 講師：大阪ボランティア協会江刺子	基本が学べた。河内長野市でのNPO法人格認証の実施に絡み、NPOを理解し相談対応しなければならぬと感じた。
5. 事務局の事業					
1) 地域型組織活性化（まちづくり交流会、自治会意見交換会支援等）	まちづくり交流会（市民協働室主催）	においては取り組み支援、る一ぶらざで各校区のチラシの展示、日程の把握などを行った。自治会意見交換交流会（自治振興課主催）ではる一ぶらざで開催協力（9月5日、3月5日）、自治会関連の相談対応			チラシの展示、市民の方からの交流会の内容・日程連絡、ホームページ更新、更には、自治会交流会はる一ぶらざで開催した。
2) センターラウンドテーブル る一ぶらの集い	毎月第2土曜	る一ぶらざ	145	「住み良いまち、安心できるまち、自然を満喫できるまちを私たちの手で」様々な分野で活躍する人が対等な立場で課題を共有し情報交換する場、ここからネットワークが広がって地域づくりにつなげる。	お互いの親睦が図られ、今後のボランティア活動にプラスになり、更に、お互いの情報交換・交流の場になった。反面、参加者が固定傾向にあり、幅広く市民に呼びかける必要がある。
3) 公募型補助金・協働事業提案制度活用講座・研修等	5月21日	る一ぶらざ	46	「市民公益活動支援補助金制度活用講座」（22年度分）内容：申込み方法の工夫、他市の事例紹介	先駆けて取り組んでいる「市民活動フォーラムみのお」の実例を聞き、参考になった。
	6月10日	る一ぶらざ	26	1回目プレゼンテーション講座（22年度分）内容：プレゼンテーションの技術を学ぶ。	平成22年度からの新規制度ができ、この制度を活用する団体に役立つための講座であった。
	6月17日	る一ぶらざ	30	協働事業提案制度活用講座（22年度分）内容：協働事業の公募の心構えや提案方法の工夫	活動のステップアップのチャンス、この講座で協働事業の可能性を考えるきっかけとなった。
	2月24日	る一ぶらざ	10	「市民公益活動支援補助金制度活用講座」（23年度分）内容：申込み方法の工夫、他市の事例紹介	22年度と同様、先駆けて取り組んでいる「みのお」の実例と申請のポイントが聞けた。
	3月10日	る一ぶらざ	9	2回目プレゼンテーション講座（23年度分）内容：1回目に進じる。	プレゼンテーションのポイントを学び、プレゼンを実際に行い審査し合うことで有意義な講座であった。
4) 活動報告書の作成	通年			年間の活動を報告書にまとめる。	単なる報告にとどまらず、今後の活動につなげ
6. センター管理運営					
センター管理運営	通年	る一ぶらざ設備の提供、上記支援センターの各事業・行事を管理運営			推進委員の日常の努力、団体の協力により、問題なく遂行できた。また、内容も向上した。
消防訓練・救命講習会	3月7日	る一ぶらざ	23・13	消火器・自火報の操作訓練/心肺蘇生法・AED実技	緊急時を想定した訓練・講習が出来た。
センター利用者交流会	3月12日	る一ぶらざ	16	る一ぶらざ利用者を対象に意見交換	より良い利用方法などについて意見交換した。
その他（展示、イベント情報紙発行等）	その都度	キックス他	—	支援センターの管理運営・行事内容の紹介・PR「イベント情報紙」で団体行事予定の紹介	展示は積極的に行った。また、今年後半から団体行事予定を情報紙で紹介した。